



発行所 福井県PTA連合会 会長 稲 英亜機 広報委員会
 〒918-8135 福井市下六条町14-1 (福井県生活学習館2階) TEL 0776-41-4253 FAX 0776-41-4333
 HP <http://www.fukui-pta.jp> (公社) 日本PTA全国協議会 <http://www.nippon-pta.or.jp/>
 E-mail mail@fukui-pta.jp

福井県PTA

H29.3
114号



- ★第58回 福井県PTA連合会 研究大会 全体会 2
- ★第58回 福井県PTA連合会 研究大会 分科会 3
- ★「一筆啓上・我が家の三原則」優秀作品発表 4
- ★第72回東海北陸ブロックPTA研究大会 分科会 5
- ★ドクター通信 6
- ★日本PTA全国協議会 表彰式 7
- ★福井県選出国會議員への請願活動報告 7
- ★ブロックより こんなことやってます 8
- ★編集後記 8

ご挨拶



福井県PTA連合会
会長 稲 英亜機

12月3日(土)に開催された福井県PTA連合会研究大会には、12月の福井とは思えないほどの快晴のもと、500名を超える会員の皆様にご参加をいただきました。3つの分科会、全体会において参加者の皆さんがお客さんの立場でなく、それぞれが主体的に講師や他の参加者と関わりをもちながら討議が進められ、大きな成果につながったものと思います。ただ運営上改善を要する点があったことも承知しており、ご協力をいただいたアンケート等をもとに検証作業を行い、次回大会につなげていきたいと思っております。

今年度も文科省から全国学力・学習状況調査、スポーツ庁から体力テストの結果が公表され、本県児童生徒が引き続き全国トップレベルを維持していることがわかりました。保護者として大変うれしく、また誇らしいことであると思っております。

県PTA連の会長として全国の都道府県連合会の会長と意見・情報を交換する場が年に何度かあり、どの連合会においても少子化に伴う会員の減少や、事業への協力・参加率がなかなか向上しないこと等、抱える問題が共通していることを知る機会となります。また同時に本県の子供連を取り巻く環境が他の都道府県に比べ恵まれていることを知らされる機会にもなっています。本県の児童・生徒の保護者や地域の大人達は自分達の子供や地域の子供連に強い関心を持っていて、また先生方の献身的なご指導と相まって子供連の体力・学力の向上に大きく貢献しているのを感じます。

福井県PTA連合会はこのように恵まれた環境のもと、各単位PTA、都市の連合会が相互に密接に連絡協議できるような活動し、児童生徒が幸せだと感じられる教育環境を整えることに尽力してまいりたいと思っております。このことに対して会員の皆様には温かいお気持ちでご理解・ご協力をいただきましたと思いますのでよろしくお願いたします。

PTA活動中の事故の防止を。万が一事故が起きたら、一報を。

福井県PTA連合会安全会 ☎ 0776・41・4253 (届出は30日以内)

連合会研究大会

第58回 全体会

平成28年12月3日(土) 福井県生活学習館



落井 源真さん
落井 真由美さん(母)



堂村 涼月さん
堂村 恭子さん(母)

「つながり」を共に考える

福井県PTA連合会 総務委員長

佐野 弘

(福井市鴉小学校)

本研究大会では、子育て・広報・環境の各委員会による3つの分科会と、生涯学習委員会による「わが家の三原則」の入賞者表彰式、そして総務委員会による全体講演会が開催されました。

今年、「共に学び実践し、広げてつなげようPTAの輪」をスローガンに、親と子の絆で結ぶ家族のつながり、防災・災害時に助け合う社会のつながり、そしてインターネット社会における世界とのつながりなど、いずれも現代の小・中学校の児童・生徒、保護者、教員にとって大切なテーマである「つながり」について、県内各地から延べ500人を超える方々と一緒に考える素晴らしい機会になりました。ご講演いただいた講師の先生方はじめご来賓の方々に心よりお礼申し上げますとともに、本大会のスムーズな運営と準備に力を合わせてご尽力頂きました役員スタッフの皆様にも、深く敬意と感謝を申し上げます。

全体講演会では、親業訓練協会(シン・アイコン)ストラクターの関崎智弥先生から子供が伸びる親子の心のかけ橋を築くために必要なことについて具体的な事例を交えながらわかりやすくお話頂きました。相手の言葉(心)を素直に受け入れて聞く「能動的な聞き方」や、自分の思いを素直に伝えて相手に選択を託す「わたしメッセージ」など、大人社会のコミュニケーションにおいても大変参考となる実践術を教えて頂きました。本研究大会の成果が、各単位PTAはもとよりご家庭で子供達が伸びるために少しでも役立てて頂くことができれば幸いです。



生涯学習委員会
おめでとうございます



「わからない」という前向きな姿勢で、
「わが家の三原則」を
実践しよう



「わからない」という前向きな姿勢で、
「わが家の三原則」を
実践しよう



福井県PTA連合会研究大会

第58回 福井県PTA 分科会

共に学び実践し、広げてつなげようPTAの輪

～途な想い～ 今、あなた(我が子)に伝えたい 生まれてきてくれてありがとう

第1分科会 子育て委員会

子育て委員長

早川 裕之

(敦賀市 沓見小学校)

親はみな、子育てに關し大なり小なり悩みを抱えています。でも、共通した想いは、原点である「生まれてきてくれてありがとう」だと思います。今回、「途な」の皆さんと「ラボ」できて、あらためてその言葉、気持ちを思い返すことができました。委員会メンバー、県P連役員の方々、そして当分科会に参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。



「分科会に参加いただいた皆様の声より」
 ○子供はかけがえないものである。と改めて再確認できました。
 ○子供の目を見てしっかりと話すことを心掛けたと思います。
 ○子供の話を、話を、もっともっと聞いてあげたいと思います。
 ○子供に「ありがとう」を求める前に、「自分からありがとう」を言おう(伝えよう)と思いました。
 ○「あなた(我が子)を大切に思っている」ことを態度で示したいと思いました。

○子供にとっては「誰か一人でも味方がいれば頑張ることが出来る」その誰かになれたら、強く思いました。
 ○家族を大切にします。そして、毎日子供ともっと参加させていきたい。心が楽になりました。子供にこぼれ涙を流したい。



第2分科会 広報委員会

広報委員長

天立 智恵

(勝山市 勝山中中学校)

広報委員会の分科会では松井峰晴さんから4名の防災士を講師に迎え、東日本大震災で津波に襲われたにも被害が軽微だった蓋石市蓋石東中学校と、対照的に甚大な被害を被った石巻市大川小学校の二校の災害対応を例に、被害の軽重を分けた原因について解説頂きました。

「防災学は結果論」との批判も有るが、災害被害を抑えるには結果から学んでいくしかない。と語る松井さんの言葉に聴講者は熱心に耳を傾けていました。講演に続くワークショップでは、授業中に大地震が発生した場合の対応を参加者全員で考え発表し合い、防災意識を高めることができました。



第3分科会 環境委員会

環境委員長

高松 恒雄

(丹生郡 朝日中学校)

研究大会第3分科会では、「子供達の人生を守るためのフィルタリング活用法」というテーマで、工藤陽介氏を招いて講演をしていただきました。

講演では、ネットへの依存、ネットいじめ、SNSからの個人情報漏えいなど実際にあった事例を挙げて危険性を伝えていただき、具体的なトラブル回避策としてフィルタリングの活用法を教えていただきました。

最近の子供達は、気軽にネットを利用できる環境の中で生活しているため、ネットトラブルに巻き込まれる危険性も高くなっています。

ネットトラブルを未然に防ぐためには、保護者が子供の利用実態を把握し、子供と十分にコミュニケーションを取ることが大切です。また、フィルタリング等、技術的に対策できる部分は、しっかりと対策して巻き込まれにくいネット環境をつくることや、情報モラル教育・ネットリテラシー教育によって自ら危険を回避できる知識を身につけることが必要だとわかりました。

子どもの人生を守るためのフィルタリング活用法

会場には、約130名の会員の方に参加をいただき、講師のユーモアを含めた興味深い内容に「講演時間が短く感じた」「質疑応答の時間がもっと欲しかった」「自分の学校にも講演に来て欲しい」といった感想が寄せられました。

学ぶことの多い分科会を運営することができ、参加者の皆さまに少しは貢献できたという実感が得られ環境委員としても満足な一日でした。

子供達が安全で安心な学校生活を送れるよう、環境委員会は、これからも様々な提案ができるよう、研究していきたいと思っております。今後とも協力よろしくお願ひ申し上げます。



一筆啓上・我が家の三原則



会長賞

- 一 家族みんなで仏壇に手を合わせる
- 二 朝ごはんはしっかりと食べる
- 三 毎日トイレそうじ



中一の息子へ
あなたの成長が、お母さんの一番の楽しみです。反抗期、まっごのま、お母さんへ「ソババア」と思っても、言わないでください。



越前市万葉中学校1年 落井 源真



会長賞

- 一 わるいと思ったりごめんさい
- 二 かつ校でのこと教えて
- 三 家でほくつろいで



涼月へ
知ってますか？いつもスヤスヤ眠っているあなたに「生まれてきてくれてありがとう」と言っていることを。お母さんへ 逆に知ってますか？ほくを産んでくれてありがとうございます。



大野市有終南小学校5年 堂村 涼月



生涯学習委員会賞

- 一 節電、節水を心がける
- 二 家事はみんなで、役割分担
- 三 早寝、早起きを毎日する



お姉へ
毎日学校から帰ってきてきつつかれていなのに、文句ひとつ言わず手伝いをしてくるお姉。かっこいいなと思います。



坂井市坂井中学校1年 竹村 優希



優秀賞

今年度は過去最高の14784通の応募をいただきました。
応募いただいた作品はどれも、家族・家族の温もりが感じられ、すばらしいものばかりでした。ご家族の皆様のご理解とご協力により、多数のご応募をいただき、心から感謝いたしております。
ここでは会長賞(2作品)生涯学習委員賞(1作品)優秀賞(7作品)を紹介させていただきます。



若狭町三方小学校1年 岡林 祐希

- 一 すききらいせずたべる
- 二 テレビはさがってみる
- 三 くつはそろえる

お母さんへ
おとうさんが仕事へ行っている間、お母さんと妹を守るのがほくの仕事だよ。とお父さんが言っていたよ。

越前市国高小学校2年 長谷川 空翔

- 一 一日一回は人のためになにかしよう。
- 二 ゆずりあいをはたそうける
- 三 ごめんなさいのことはとともにあくしゆでなかなあり

かいとへ
いつもママがソファで横になっていると、そとと布団をかけてくれてありがとう。とっても優しい子に育ったね。

お母さんへ
いつもおしごとおつかれさま。かせひかないでまい日元気にわらっていてほしいからだよ。こちらうこそありがと。

あわら市三原小学校3年 榎山 彩巴

- 一 あいさつをする
- 二 すなおにごめんなさいを言う
- 三 ありがとうと感謝をする

ママへ
ねえママ、すくおつた後やケンカした後、かたをボンボンとたたくのはなんで？

福井市雲水小学校5年 宇佐美 葉

- 一 食事のときはたくさん会話をする
- 二 目を見て笑顔であいさつをする
- 三 小さなウソでも必ずつかない

父さんへ
目を見て話すとて大事だね。楽しい事があったか、嬉しかったか、悲しかったか、嬉しいでるか全てわかるから。

父さんへ
ほくの考えでることが分かるなんてすごいね。ほくもお父さんになったら子どもの考えでることが分かるかな。

榎山市榎山南中学校1年 川森 康生

- 一 家族への感謝
- 二 家族への思いやり
- 三 家族への敬意

お母さんへ
今まで辛いときもあったけど、お母さんはいつも作ってくれる味噌汁のよさに温かく見守ってくれていました。

- 一 感謝の心を忘れずに
- 二 今日の出来事は全部言う
- 三 家族の画、やせぬぞ

母上へ
いつもおそろしいです。前世は鬼が怪物じゃあ…。でもうるさいけどいつも話を聞いてくれる母上が大好きです。

坂井市春江中学校2年 池上 琴美

- 一 うそをついたりかくしごとをしたりしない
- 二 病気がやがをしない
- 三 同じ部屋で寝る

おやじへ
家に帰ると倒れこむように寝てしまっておやじ。話しかけても、いびきが返事じゃ、がっかりするよ。

駿和へ
親子の会話で顔を合わせることも少ないかも。お前の顔は生まれた時からずっと見ているよ。

越前市世平南中学校2年 佐々木 駿和

第72回 東海北陸ブロックPTA研究大会

愛知県・名古屋大会

平成28年10月28日・29日

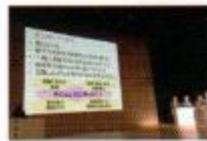
明日の子供たちのために～NaGoYaかに裏でようゝ家庭・学校・地域のハーモニー～

第2分科会(家庭教育B)

育てよう！思いやりのある心豊かな子どもたち、深めよう！地域社会とのふれあいを
福井県PTA連合会

副会長 佐々木 英江(福井市 成和中学校)

第2分科会では、最初に岐阜県関市立下有知小学校PTAから、「育てよう！思いやりのある心豊かな子どもたち、深めよう！地域社会とのふれあいを」と題し、地域の変化から学校の取り巻く生活環境や教育環境が変化していく中、PTA活動に「目標」を掲げた経緯や取り組んできた成果などが発表されました。続いて、「コミュニケーションでこころを育む」と題し、名古屋市立八王子中学校PTAも同じようにPTA活動にテーマを掲げた「こころ育む」についての取り組みが発表されました。その後のパネルディスカッションでは、2校の「PTA活動の継承」、「地域の継承とつながり」という二つの視点と親子の関わりという視点から「豊かな心の育ち」について討議されました。「家庭や学校だけでなく、地域も連携した「コミュニケーション」の力を子どもを支えていく。家庭教育の充実に向け今後のPTA活動の在り方が重要である。」と最後にまとめを終わりました。



第4分科会(学校支援B)

子どもたちの笑顔あふれる豊かな学校生活のために

福井県PTA連合会

広報委員長 天立 智恵(勝山市 勝山中部中学校)

第4分科会では、富山県入善町立桃李小学校と名古屋市立津賀田中学校両PTAからの実践発表がありました。農村部と都市部の違いはありますが、子供達をめぐめる環境を守るために、地域の住民と連携を取りながら懸命に活動している姿が印象的でした。その後、助言者を迎えて今後のPTAの在り方についての意見交換が行われました。

①学校と子供達のニーズを把握した活動の展開

②学校支援から連携へ

③PTA活動(組織)の見直し

・会員の減少により事業縮小、組織改革

・参加しにくい会員(父親)の参加を促す

・SNS(スマホ・携帯等)の活用を行うなど

④活動に寛容の心をもつ

(多くの人がかわりながら活動。気軽に楽しく)

との意見が出され、同じような悩みを抱える参加者にとっても有益な内容となりました。



第3分科会(学校支援A)

親子の再発見・再構築・再感動！自立への土台づくり！
福井県PTA連合会

生涯学習委員長 栗原 泰道(坂井市坂井中学校)

第3分科会では、三重県鈴鹿市立神戸中学校PTAより、「親子の再発見・再構築・再感動！自立への土台づくり」と子ども自らつくるお弁当の日を通して「をテーマに、名古屋市立大手小学校PTAより「今こそ、おやしき」親父の大胆さと母親の繊細さ、そして教育者との融合で魅力ある学校に……」をテーマに実践発表がありました。



神戸中学校からは、家庭科の二環として4年前に赴任した校長先生の提案により始まった「自らつくるお弁当作り」の紹介がありました。この取り組みにPTAとして賛同・参画することにより、食を通して親子の語りや関わり、自然な会話などが生まれたとの発表がありました。大手小学校からは、おやしきの学校参加・ネットワーク作り・パワーの発揮を目的とした「おやしきの会」の活動と課題についての発表がありました。母親中心のPTA活動におやしきの大胆さが加わることで教育者とのダイナミックな連携が生まれ、魅力ある学校づくりと子どもたちの成長につながる内容でした。

第5分科会(地域連携A)

地域社会との密接な連携を築く共育(ともいき)と地域と共に子どもを育てる活動を通して

福井県PTA連合会

広報副委員長 岩原 義明(鯖江市 鯖江中学校)

第5分科会では、愛知県新城市立鳳来中学校PTAからは「地域社会との密接な連携を築く共育(ともいき)と地域と共に子どもを育てる活動を通して」と題し、また名古屋市立植田南小学校PTAからは「みんなで育てる南ついで」教える教わる・支え合う地域連携のあり方」を主題とする研究発表がありました。どちらとも学区内の自然・歴史に恵まれた環境のなかで、積極的に地域とつながり、またつなげるPTA活動に取り組んでいる内容が紹介されました。

パネルディスカッションでは、地域連携の意義・メリットについて多くの意見が交わされていました。

○魅力あることによる情報交換や地域の一体感、次世代のためにも大切にする

○地域と学校のペースを合わせ、どのように関わるかを考える

○PTAに関わる人材の育成やモチベーションをしっかりと行う

このように、活動の意義をどのように、いかに多くの方に浸透させていくかを再考するきっかけとなる内容でした。



ドクター通信

福井県PTA連合会 安全会審査委員
(田中病院院長) 田中 廣昌



子供にもある糖尿病

皆さんは、糖尿病は成人病、生活習慣病の1つだから、大人がなるものと思っ
ていませんか？

糖尿病とは、栄養素として血液中に吸収されたブドウ糖を、利用するために重要な働きをするインスリンが、不足したり作用しにくくなったりすることによってブドウ糖を利用してできなくなり、血液中のブドウ糖濃度(血糖値)が高くなる病気です。
糖尿病には大きく分けて、1型糖尿病、2型糖尿病の2種類があります。1型糖尿病は主に幼少時期に発症する糖尿病ですが、近年は1型だけでなく、2型糖尿病の若年化が問題となっており、糖尿病はもはや大人だけの病気ではないのです。

1型糖尿病

殆んどの場合自己免疫反応によって、膵臓の細胞が破壊され、インスリン欠乏状態となる病気です。肥満には関係なく、小児期に多く、尿の回数や量が多くなる、喉が渇き水分を多くとる、食へているのに痩せる、疲れやすいなどの症状から、重症化すると、高度の脱水や昏睡におちいることもあります。

2型糖尿病

小児の2型糖尿病は大部分が肥満を伴っています。食へ過ぎ、運動不足などが原因で、インスリンの効きが悪くなったり、インスリンの分泌不足によって発症する、一般的な糖尿病で、遺伝的な要素も大きく関係しています。

本来は成人に多い病気ですが、生活習慣の変化により、子供の発症が増加しています。最近では1型を上回る頻度となっていますが、発症数は落ち着きをみせているようです。

治療は食事療法や運動療法が基本ですが、内服や注射が必要なこともあります。小児期に発症する多くが肥満を伴っているため、年少時から身長、体重のバランスに心掛けることが大切です。

ネットモラル研修会を開催いたしました

平成29年2月5日(日)パレア若狭

福井県PTA連合会 環境委員長
高松 恒雄(丹生郡 朝日中学校)

2月5日(日)パレア若狭において、ネットモラル研修会を開催いたしました。

講師に佛教大学教育学部教授・京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授 原 清治氏をお招きし、「ネット社会と子どもたちの実態」21世紀型の子との関係を考える」と題して講演をしていただきました。

会場には、311名という大勢の方に来場していただき、本県の保護者の皆様の関心の高さと熱意を感じる事ができました。最初は来ていただいた皆様に満足していただけたか不安もありましたが、終わった今は、福井の子供達の特徴や現状を知ることができた有意義な研修会になったと自負しております。

講演では、子供達がネットトラブルを起こさないためには、先生や親・地域の方が手本を示す、子どもと一緒に行動する、送信ボタンを押す前の「ためらい」を身につけさせるなど、大人に求められることを教えていただきました。また、



これからは学校・家庭・地域が一体となつてコミュニケーションを取ることが必要であり、ネット社会で生きている子供の人間関係の特徴として、少人数化、同質化、序列化している傾向がみられ、その対応策として共感性、耐久力、復元力、勇氣、リーダーシップなどといった「21世紀型のカラダ」を持たせることが不可欠であるということがわかりました。

今後、子供達を取り巻く環境は、ますます複雑で予測の難しい時代になっていきます。それぞれの親が、ばらばらに対応を考へても妙案は浮かばないでしょう。だからこそ、保護者が結束して知恵を出し合ったり、このような勉強会で学んだりすることは有効だと思つたのです。子供達に21世紀型の力を身につけさせるために保護者としてなにをすべきか、これからもみんな考えて行きましよう。

今回、遠路はるばる来場していただいた皆様、ありがとうございました。そして、どうか今後とも県PTA連合の活動にご協力をお願いいたします。

日本PTA全国協議会 表彰式 日本PTAの強い絆を 感じた表彰式典

福井県PTA連合会 副会長 田辺 寛之
(若狭町三方小学校)

平成28年度日本PTA年次表彰式が東京都「ホテルニューオータニ」にて開催され、全国から300団体、228名が受賞されました。
福井県からは、7団体、4名の方々が受賞されました。個人4名の方々におかれましては、長年に渡る輝かしいPTA活動に対する功績が表彰されたものであり、敬意と感謝を申し上げます。おめでとございます。
また、広報紙コンクールにおいて受賞をされました、円山小学校、木田小学校、丸岡中学校のみなさまのすばらしい広報紙によるPTA活動の紹介は、将来にわたり、家庭・学校・地域の絆を強とするものでしょう。
今後、福井県内各単位PTAの活動が、ますます発展することを切に願います。

福井県PTA関係の受賞者のみなさま

文部科学大臣表彰

(団体)
福井市 明倫中学校PTA
高浜町 和田小学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰

(団体)
坂井市 三国北小学校就将会
勝山市 村岡小学校PTA
(個人)
佐々木敦子 酒井信治
白崎貴之 結川孝利

第38回全国小・中学校PTA活動コンクール

(団体)
福井市 円山小学校PTA
坂井市 丸岡中学校PTA
福井市 木田小学校PTA

第22回東海北陸PTA年次大会

福井県PTA連合会前会長 田本 憲恭
福井県PTA連合会前事務局長 日芳 達也
(敬称略)



福井県選出国会議員への請願活動

福井県PTA連合会 教育関係特別委員会 委員長 長田 隆
(高浜町 高浜中学校)



本年度の国会議員請願活動は、11月17日(木)・18日(金)の2日間にわたり行いました。福井県選出および福井に縁のある国会議員の方を対象に訪問し、直接お会いすることができた国会議員の方とは陳情内容以外にも、今日的な課題について意見交換をさせて頂きました。今回、公務のためお会いすることが出来なかった一部の議員の方については秘書の方を通じて、お渡しして頂くことと致しました。
陳情では、将来に夢を持ち、意欲的に学びを实践できる子供達を育てるための教育環境整備・充実のため、4項目についてお願いしてきました。

〔陳情内容〕

- ①貧困や虐待など問題を抱えている子供達が、心身ともに健やかに成長していくために、子供食堂への助成や児童福祉司等支援体制の充実。
- ②いじめ・不登校の防止や、早期発見・早期解決に向けスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの増配置。
- ③支援を必要としている子供達への授業や多様な教育をきめ細かく展開するための専門スタッフ増配置。
- ④アレルギー疾患等、健康問題をサポートしていく養護教諭の増配置と食の安全・安心のための体制づくり。



また、今回の陳情では、11月16日に発信された日本PTAの「教職員定数の削減に反対する緊急要望書」も併せてお渡しして頂きました。
御多用の中、対応して頂きました議員および関係者の皆様と、次代を担う子供達の教育環境充実に向けての必要性について認識共有を図ることができたことに、改めて感謝致します。

第73回日本PTA東海北陸ブロック 研究大会福井県敦賀大会実行委員長 丸岡 樹善 (敦賀市敦賀気比高等学校付属中学校)

皆様こんにちは！いよいよ東海北陸研究大会福井県敦賀大会が本年10月7日に迫って参りました。大会運営は現在、実行委員会を中心とし、部長を先頭に5つの部会で大会成功に向け頑張っています。昨年行われました72回名古屋大会では皆様のご協力の元、PR活動も行い、他県からは「福井っていいね」という言葉を沢山頂いています。
PTAに携わり、自分の街を深く知り、この街を更に好きになりました。その魅力発信できる機会に出会えた事を嬉しく感じています。また同時に、大会実施だけに終わる事のない様、大会開催がこれからのスタートだという想いで取り組んで参ります。この大会で、県内各PTA会員が「つながり」、そのつながりが子供達の未来の為に力になることを強く願っています。

つながり 東陸丸 ～皆と(港)ここ(敦賀)から いざ出航～

皆様の積極的な大会ご参加・ご登録を心からお願ひ致しますと共に、大会運営へのご協力も合わせて宜しくお願い申し上げます。



